

アーカイブ中核拠点形成モデル事業(委託事業)

令和3年度予算額(案) 54百万円の内数
(前年度予算額 54百万円の内数)

概要

歴史的・文化的価値のある我が国の貴重な文化関係資料が散逸・消失することのないよう、文化関係資料のアーカイブ化推進において中核となり得る大学や所蔵館・機関等を拠点化し、一定期間集中的に取組を進めることにより、当該拠点を中心としてアーカイブの整備を効率的かつ効果的に促進することを目的とする。

令和2年度実施内容

令和2年度は、撮影所等における映画関連の非フィルム資料を対象として実施。

※映画関連の非フィルム資料とは、映画に関わるフィルム以外の資料(台本、ポスター、プレス資料、パンフレット、チラシ等)を指す

(1) 実態調査

- 関東地区における映画の撮影所等に保管されているシナリオ、ポスター等の映画関連非フィルム資料(以下、非フィルム資料)について、東京調布地区の映画撮影所や非フィルム資料を所蔵する施設等を対象に、データベースの有無も含め所在情報の収集・調査を実施

※調査対象：調布市立図書館、調布市郷土博物館、日活調布撮影所、株式会社角川大映スタジオ

- 昨年度実施された「全国映画資料館録2015」主要50館アンケートの実績に基づき、非フィルム資料の保管整理状況の追跡調査を実施

(2) 「非フィルム資料所在地情報検索システム(JFROL)」構築および「全国映画資料館録2020」の作成

- 昨年度に行われた京都：東映太秦映画村のデータベースと東京：松竹大谷図書館のデータベースとの連携実証実験を受け、「非フィルム資料所在地情報検索システム(JFROL)」を公開
- 国立映画アーカイブと共同で「全国映画資料館録2020」を作成、発行(計68館を掲載)

(3) 利活用方法の検討および試験的展示会の実施

- 映画関連資料の利活用方法を検討し、その一例として、所蔵館等において非フィルム資料の展示・公開を実施(緊急事態宣言の発令により、下記アーカイブサミットにおける報告に切り替え)

(4) 成果報告

- 「全国非フィルム資料アーカイブサミット2021」をオンライン開催し、今年度の実施内容の成果を発表し、関係者に共有